

エージェントAIとの 新しい働き方

～Smartsheetが提示するDigital Co-workerの活用で
実現する自律的な業務遂行と生産性の最大化～

 smartsheet

THE INTELLIGENT WORK MANAGEMENT PLATFORM

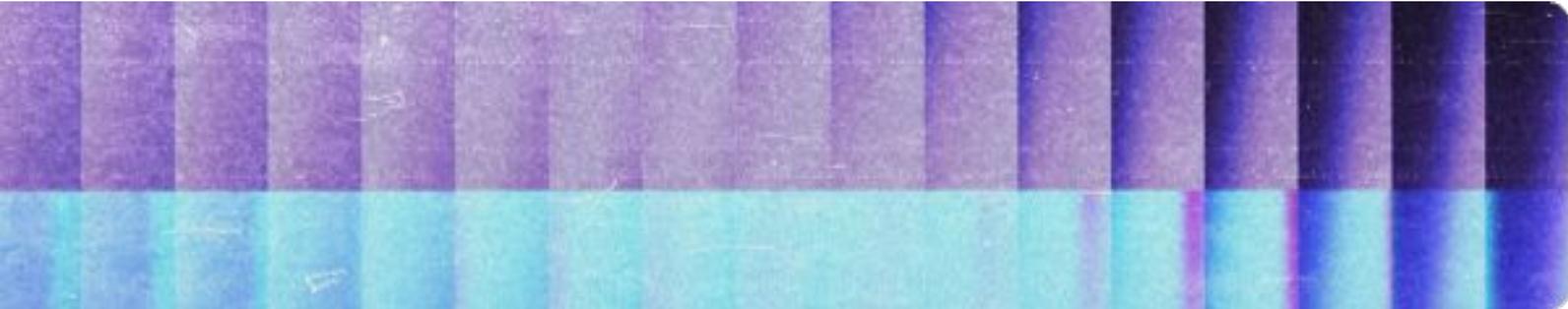
法的情報

このプレゼンテーションは Smartsheet の専有財産であり、ここに含まれるコンテンツは機密情報であり、許可された内部使用のみを目的としています。このコンテンツは、Smartsheet に対して守秘義務を負わない第三者に開示してはなりません。

Smartsheet は、通知なしに、また Smartsheet の単独の裁量により、ここに含まれる情報を改訂または更新する権利を留保します。

Smartsheet は Smartsheet Inc. の登録商標です。このプレゼンテーションで使用されている実際の企業名および製品名とロゴは、それぞれの所有者の商標であり、その使用は推奨または提携を意味するものではありません。





アジェンダ

本日はお話ししたいこと

1. **我々を取り巻く共通課題とは？**
2. **Smartsheet が考えるIntelligent Work Managementとは - その1**
3. **企業レベルのAIの導入が進まないのはなぜか？**
4. **Smartsheet が考えるIntelligent Work Managementとは - その2**
5. **まとめ**



1

我々を取り巻く共通課題とは？



今、たくさんの企業が直面する代表的な課題

業務プロセス管理やプロジェクト管理の効率化が喫緊の課題

極限のリソース不足

- ・ 日本の企業の多くが「より少ないリソースで、より多くのアウトプット」を出すよう常に求められる過酷な状況にあります。

業務システムや組織のサイロ化

- ・ ツールやデータの分断(サイロ化)が業務の共同作業を困難にしており、これが効率化の大きな壁となっています。

個々の企業でAIを導入することの難しさ

- ・ 生成AIなどは広く使われ始めたが、個々の企業で独自に導入はなかなか難しい。



今、たくさんの企業が直面する代表的な課題

業務プロセス管理やプロジェクト管理の効率化が喫緊の課題

1

極限のリソース不足

- ・ 日本の企業の多くが「より少ないリソースで、より多くのアウトプット」を出すよう常に求められる過酷な状況にあります。

業務システムや組織のサイロ化

- ・ ツールやデータの分断(サイロ化)が業務の共同作業を困難にしており、これが効率化の大きな壁となっています。

個々の企業でAIを導入することの難しさ

- ・ 生成AIなどは広く使われ始めたが、個々の企業で独自に導入はなかなか難しい。



今、たくさんの企業が直面する代表的な課題

業務プロセス管理やプロジェクト管理の効率化が喫緊の課題

極限のリソース不足

- ・ 日本の企業の多くが「より少ないリソースで、より多くのアウトプット」を出すよう常に求められる過酷な状況にあります。

業務システムや組織のサイロ化

- ・ ツールやデータの分断(サイロ化)が業務の共同作業を困難にしており、これが効率化の大きな壁となっています。

2

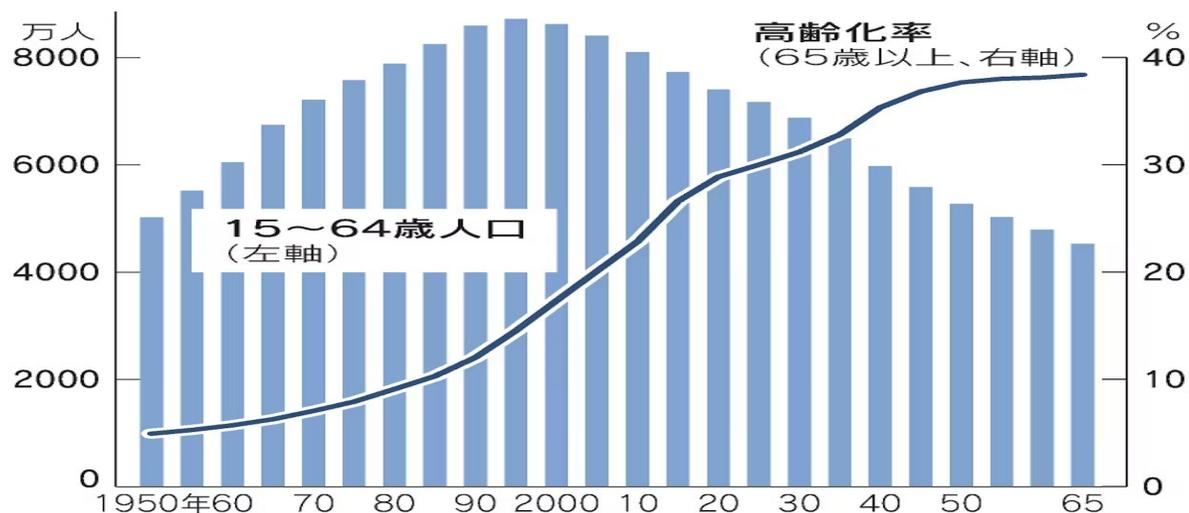
個々の企業でAIを導入することの難しさ

- ・ 生成AIなどは広く使われ始めたが、個々の企業で独自に導入はなかなか難しい。



極限のリソース不足

Project & Portfolio Management実態調査の結果から



出典：日本経済新聞・・・国立社会保障・人口問題研究所の「日本の将来推計人口(2017年)」と総務省「国勢調査」から作成したもの

リソース不足の深刻さ

43%*が「少ないリソースで成果を出すことを 常に期待されている」と強く同意しています。



業務システムや組織のサイロ化

日本特有の組織の作り方と業務システムの複雑さが真実を見えなくする！

システムの分断

72%*が「サイロ化されたシステム間の移動が業務を困難にしている」と感じています。

様々なシステムから情報を
集計している間に最新情報が
変わってしまう！

それぞれの業務プロセスで
現場の本当のステータスが
把握できない！



ウォーターメロン・エフェクトとは？

皆さんの会社もこんなことになっていませんか？

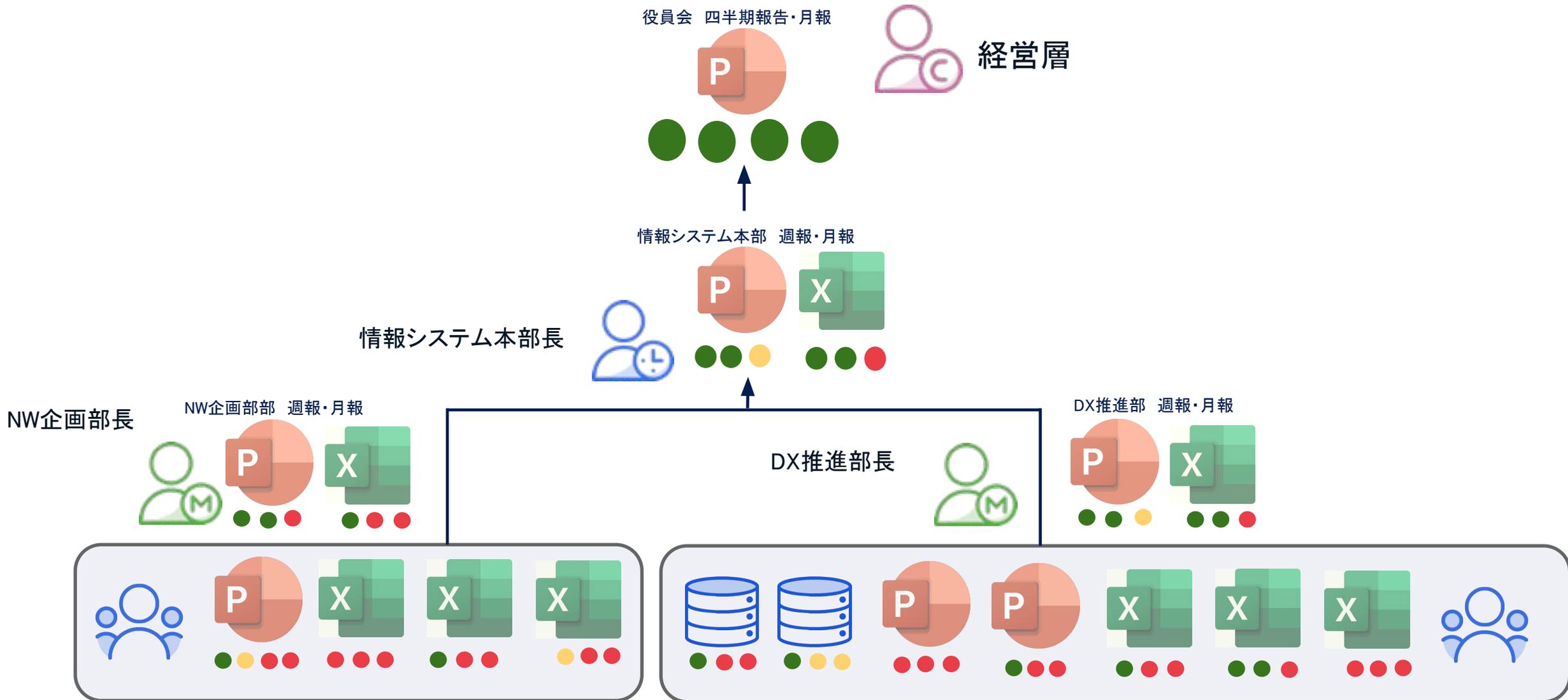


報告や評価指標は全て
うまくいっていることにな
っているのに、実際は
問題点が山積み！



ありがちな「ウォーターメロン・エフェクト」！

「情報を可視化する仕組みの欠如」と「都合の悪いことは報告したくない文化」がそれを生み出す。



2

Smartsheet が考える Intelligent Work Managementとは - その 1



企業での業務プロセス

確立された業務プロセス

明確に定義され自動化やシステム化がしやすいプロセス

ERP: 財務データの管理と保存

CRM: 顧客情報や販売履歴を登録

HCM: 人材の評価

ITSM: ITリクエスト、ヘルプデスク管理業務

DWM: 開発・不具合ワークフロー管理

変動的で固定されていない業務プロセス

従来、メール、文章ソフト、表計算などのツールで処理され、管理されてきた業務

RFP・RFI・入札管理

安全管理・訓練

スケジュール管理

ベンダー・取引先 管理

工程管理表

プロジェクト管理

受発注の管理

予算承認・管理

稟議プロセス

請求書・支払いの管理

備品・設備管理

品質管理

Smartsheet基本構成

エンタープライズ向け
クラウドベースの業務管理のシングルプラットフォーム



責任者



社内外関係者



フォーム



シート

計画

コラボレーション

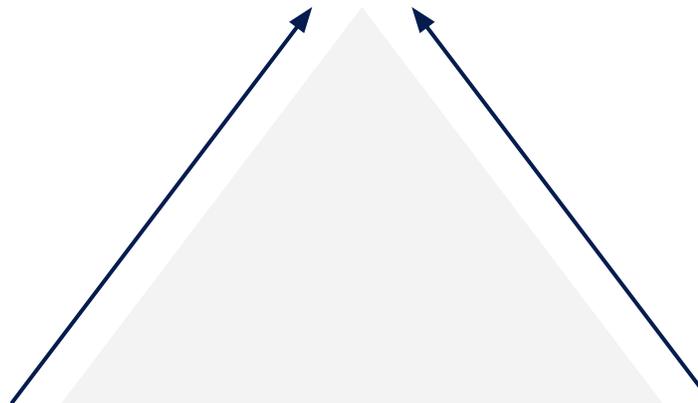


ダッシュボード

報告



社内上層部



マネージャー



レポート

報告



あらゆる企業のニーズに応えるソリューション - Smartsheet

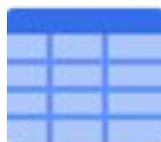
Smartsheetの全体像

プレミアアプリ(拡張機能)



コアアプリ (Business/Enterprise)

smartsheet



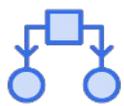
シート



レポート



ダッシュボード



ワークフロー



フォーム



関数/自動化



セキュリティ



監査



smartsheet
Control Center

反復業務のテンプレート/業務標準化



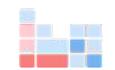
smartsheet
Dynamic View

動的なデータ表示



smartsheet
Data Shuttle

疎結合による他システム連携/情報更新



smartsheet
DataMesh

シート・レポート間でデータをマッピング



smartsheet
Pivot

シート・レポートの大量のデータを要約 分析



smartsheet
Bridge

システム間でデータを接続し タスクを自動化管理

コネクタ各種

JIRA、Salesforce、ServiceNow、MS Dynamic

Resource Management

by smartsheet

リソース管理
稼働率や能力の可視化 プロジェクト連携

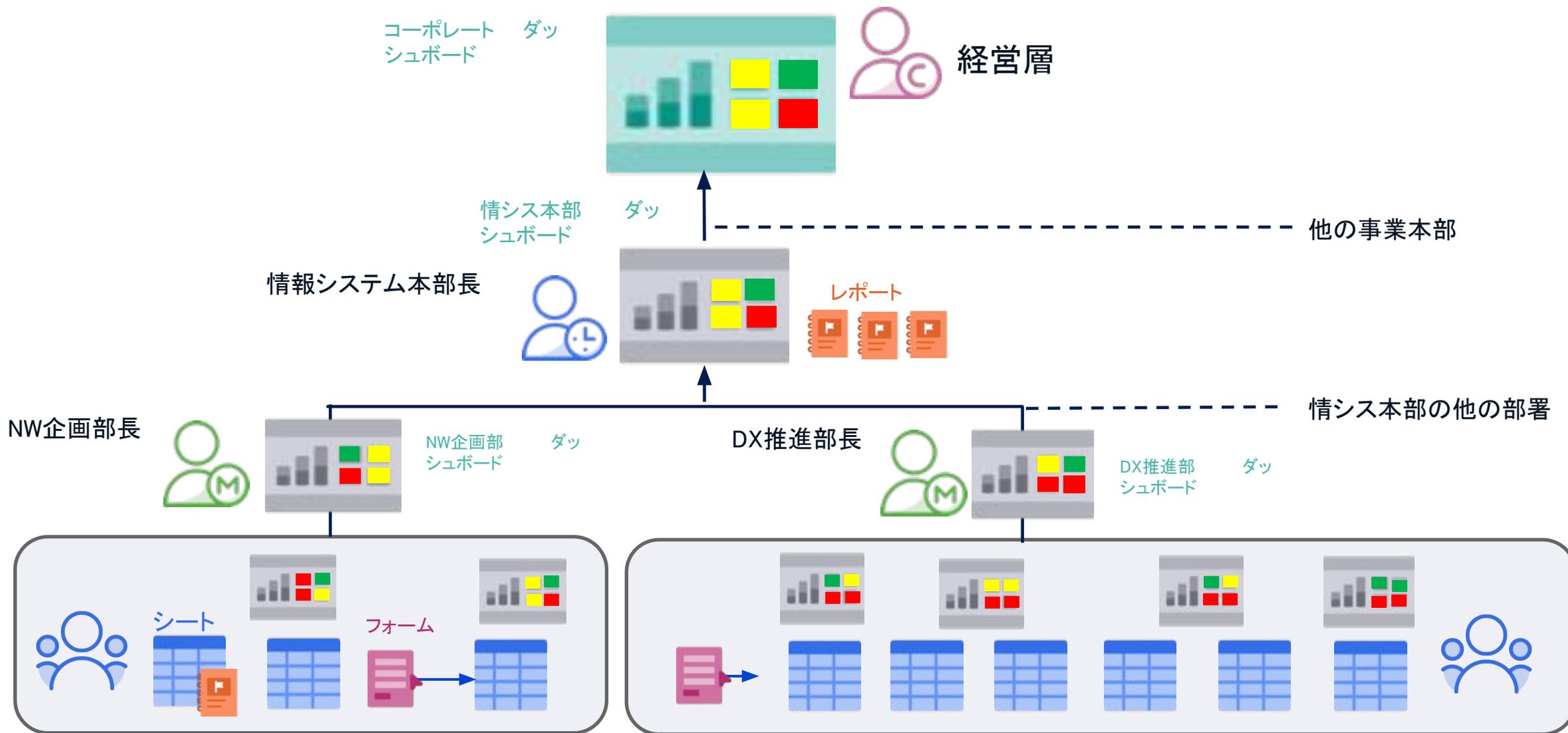
Brandfolder

by smartsheet

アセット管理
デジタル資産管理

目指すべき「攻めの経営」のためのストラクチャ(一例)

様々なITプロジェクトの「可視化」「標準化」「自動化」で経営に貢献！





MBFデジタルソリューションズ: ITプロジェクト管理とDX推進 ポートフォリオレポート



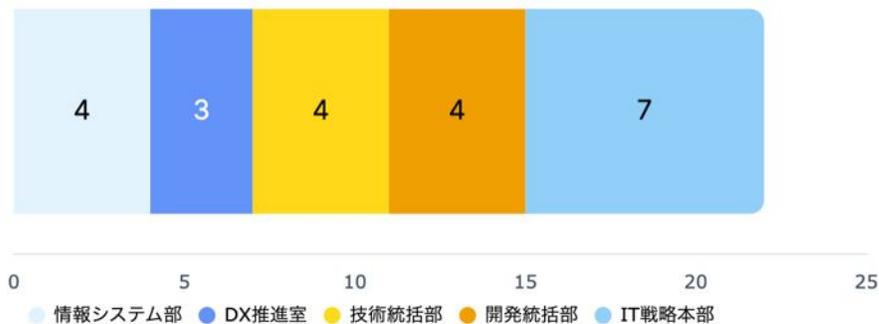
合計プロジェクト数

22

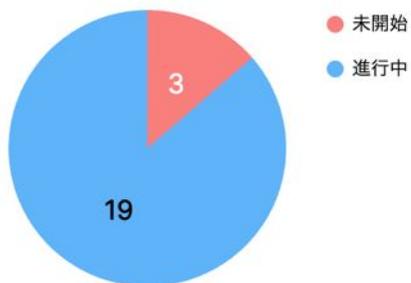
リスクプロジェクト

1

分布



全体状況



12

ソフトウェア開発 (業務アプリ・システム開発)

10

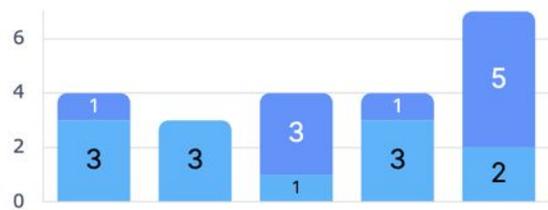
ITインフラ構築 (クラウド・ネットワーク・サーバー)

🕒 自分の仕事

📄 アクティブデータ

パフォーマンス

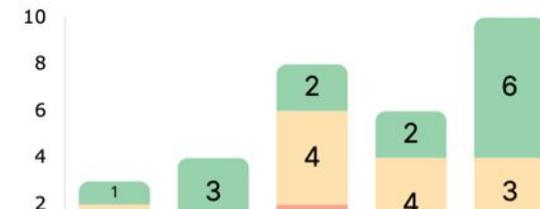
タイプ



支出



健全性



- ホーム
- 通知
- 検索
- 参照
- 最近
- お気に入り
- Resource Management
- WorkApps
- 作成
- ワークスペース

3

企業レベルのAIの導入が
進まないのはなぜか？



個々の企業でAIを導入することの難しさ



AIを、個別の企業で
業務改革に活用するのが
難しいのはなぜですか？



ChatGPT

AIを企業での業務改革に活用することは、確かに効果的な場合が多いですが、その導入が容易かどうかは企業の状況や業務の内容によって異なります。いくつかの要因を考慮する必要があります。

1. 業務の複雑さとAIの適用範囲

- 業務の中にはAIで自動化や効率化できる部分もあれば、人的判断が重要な部分もあります。例えば、データ分析やパターン認識を必要とする業務（顧客対応や需要予測など）はAIの得意分野ですが、創造性や複雑な判断が求められる業務（戦略的な意思決定など）はAIだけでは難しいこともあります。

2. データの質と量

- AIはデータ駆動型の技術です。したがって、質の高いデータとそのデータを集めるための仕組みが整っていない企業では、AIを効果的に活用するのが難しい場合があります。データが不完全だったり、不正確だったりすると、AIの予測精度や効果が低くなります。

3. 技術的なインフラの整備

- AIを活用するためには、データの収集・処理・分析を支えるインフラ（クラウドサービスやデータベース、AI専用のソフトウェアなど）が必要です。これらのインフラが未整備の企業にとっては、AI導入がハードルになる可能性があります。

4. 社内の文化と人材

- AIの導入には社内の意識改革やトレーニングが必要です。従業員がAIを受け入れるための教育や、AIを活用するための新しいスキルを習得する必要があります。これに対して抵抗感がある場合や、AIに関する知識が不足している場合は、導入がスムーズに進まないこともあります。

5. 投資とリソース

- AI導入には初期投資が必要です。企業の予算やリソースが限られている場合、長期的なROI（投資対効果）を考慮した上で、段階的に導入を進める必要があるかもしれません。

まとめ

企業でのAI導入は、適切な計画と準備があれば効果的な業務改革を実現できますが、いくつかの課題をクリアする必要があります。AI導入の成功には、技術面だけでなく、人的・組織的な面でも工夫が求められます。

Perplexity

AIを企業での業務改革に活用することは、確かに効果的な場合が多いですが、その導入が容易かどうかは企業の状況や業務の内容によって異なります。いくつかの要因を考慮する必要があります。

AI導入のメリット

- 1. 業務の自動化と効率化**
AIは定型的な作業を自動化することで、従業員の負担を軽減し、より価値の高い業務に集中できる環境を提供します。例えば、小売業では需要予測を行うことで在庫管理が最適化され、金融機関では審査業務の自動化が進んでいます。
- 2. 人手不足への対応**
少子高齢化による労働力不足に対して、AIは単純作業を代替することが可能です。これにより、限られた人材をより重要な業務に振り向けることができます。
- 3. データ分析と意思決定支援**
AIは大量のデータを迅速に処理し、分析結果を基に意思決定をサポートします。これにより、企業は競争力を高めることができます。
- 4. 顧客サービスの向上**
チャットボットなどのAIツールを利用することで、顧客からの問い合わせ対応が迅速化され、顧客満足度が向上します。実際に、多くの企業がこのアプローチを採用しています。

導入時の課題

- 1. 専門知識とデータ整備**
AIを効果的に活用するためには、専門的な知識や適切なデータ整備が必要です。これには時間とリソースがかかる場合があります。
- 2. 社内体制の構築**
AI導入には、社内での役割分担やコミュニケーション体制の見直しが求められます。特に、AIと人間の協力関係を明確にすることが重要です。
- 3. 業務プロセスの再設計**
既存の業務プロセスをAI導入前提で再設計する必要があります。これには、各企業特有の課題やニーズに応じたカスタムソリューションが求められます。

まとめ

AIは企業の業務改革において強力なツールとなり得ますが、その成功には事前準備や社内体制の整備が不可欠です。特に、自社特有のニーズに合わせたカスタムAI開発や業務プロセスの見直しが必要です。適切なアプローチを取ることで、持続的な成長と従業員満足度向上につながるでしょう。

AIの結論は？

DIGITAL
TRANSFORMATION

1

AIを活用するための
質の高いデータと、
そのデータを集める
仕組みが必要！

2

AI活用のためには、
インフラの整備や
社内のコミュニケー
ション体制の整備が
必要！

3

AIを活用するた
めの人材の育成と、
適切な社内文化の
構築が必要！

4

長期的なROI(投資
対効果)を考慮し、
段階的な導入が必
要！

Portfolio Project Management実態調査の結果から

AIに対する懸念と期待が入り混じる結果に！

AI品質への懸念

54%*が「AIが人間の監督なしに自律的に仕事のタスクを決定し、行動を起こすことに信頼できない、または、さらに詳しく知る必要がある」と回答

役割の変化への意識

83%*が「役割を奪われる」懸念を持つ一方で、**82%***はAIを「仕事のやり方を変えるチャンス」と前向きに捉えています。



5

まとめ



こんな効果が手に入ります！

Smartsheetなら皆様のお悩みを解決できます。

1. 部門や会社の業務やプロジェクトのリアルタイムでの「可視化」
2. 「標準化」と「自動化」で、慢性的な遅延や予算オーバーの検知
3. 「効率化」による、同じリソースでのアウトプットの最大化
4. そして未来の **エージェント AI 活用** への環境と文化の整備



本日はありがとうございました。

 smartsheet

THE INTELLIGENT WORK MANAGEMENT PLATFORM